

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(70歳代男性)あり、症状は発熱・肺炎で、感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は16例となっています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(70歳代1例及び80歳代1例、いずれも男性)(第46週追加報告分含む)あり、症状は発熱・全身倦怠感・肺炎・菌血症等で、感染地域はいずれも国内、感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は58例となりました。  
京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。  
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- 梅毒の報告が1例(20歳代女性)あり、症状は鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)・梅毒性バラ疹・丘疹性梅毒疹・扁平コンジローマで、感染地域は国内、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は64例となりました。  
梅毒の感染経路や治療、予防等に関しては、下記ホームページを御覧ください。  
○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」  
[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html)  
京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。  
○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>
- インフルエンザの定点当たり報告数が0.55(38例)となりました。全国では1.47になり、「流行シーズン入り」となりました。京都市でもまもなく流行シーズンに入ると思われます。手洗いとうがいを励行し予防に努めましょう。  
京都市では、インフルエンザや手洗いの方法のリーフレットを発行しています。リーフレットについては下記ホームページを御覧ください。  
○「手洗いの方法」リーフレットは、「こどもに多い感染症について」のページ内にリンクがあります(衛生環境研究所)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000197526.html>  
○こどもの感染症リーフレット「インフルエンザ」(下記ページ内にリンクがあります)(衛生環境研究所)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

## ◆ 今週のトピックス:<梅毒>

京都市の平成29年における梅毒の累積報告数は第47週までで64例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 5例(肺結核 2例, 其他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性なし  
【1月以降の累積報告数 314例(肺結核 163例, 其他結核 53例, 潜在性結核感染者 98例)うち喀痰塗抹陽性 81例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 16例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 58例】
- 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 64例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.55	38
小児科	① 感染性胃腸炎	5.88	253
(降順5位まで)	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.23	53
	③ RSウイルス感染症	0.79	34
	④ 手足口病	0.72	31
	⑤ 水痘	0.56	24
	⑤ ヘルパンギーナ	0.56	24
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

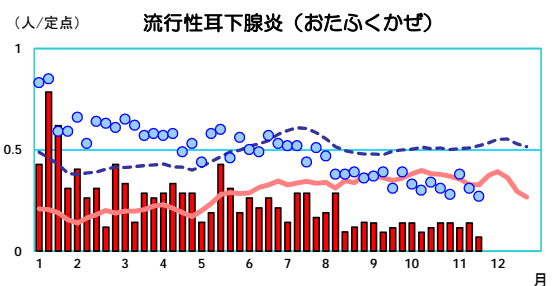
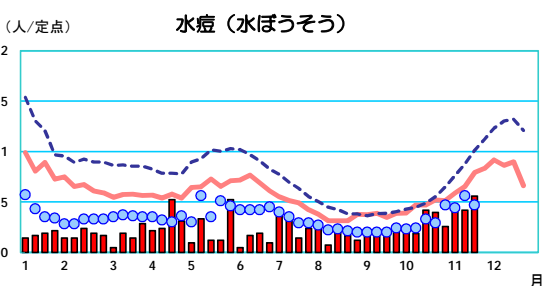
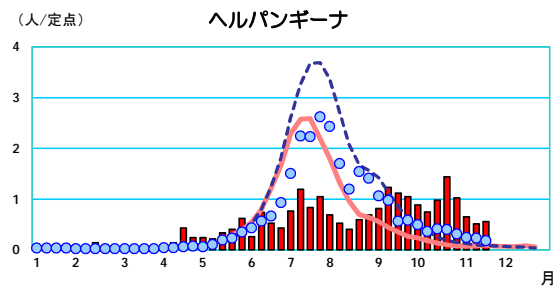
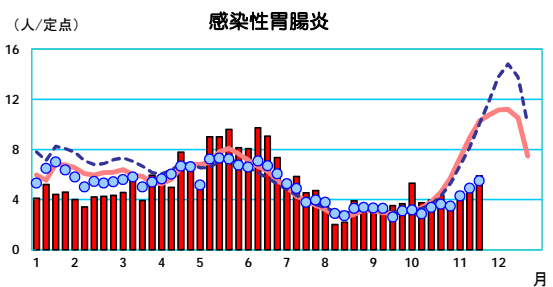
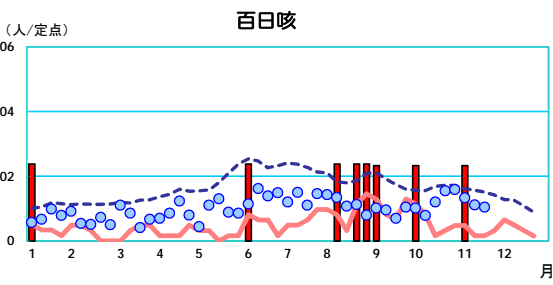
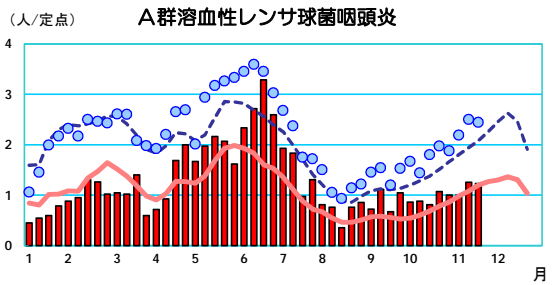
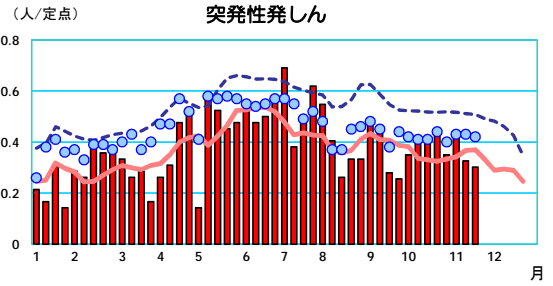
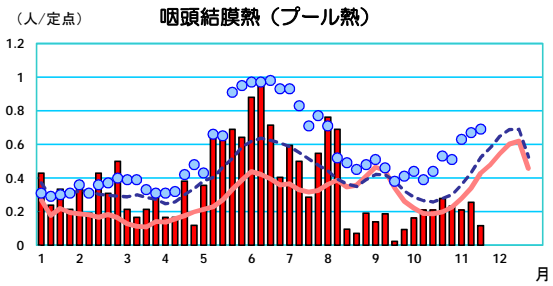
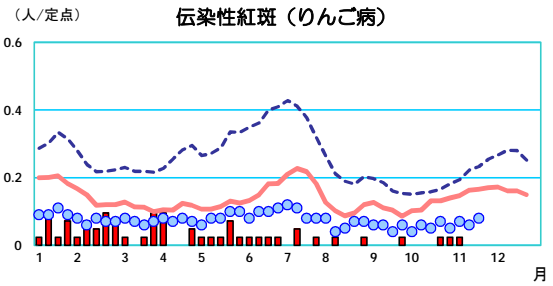
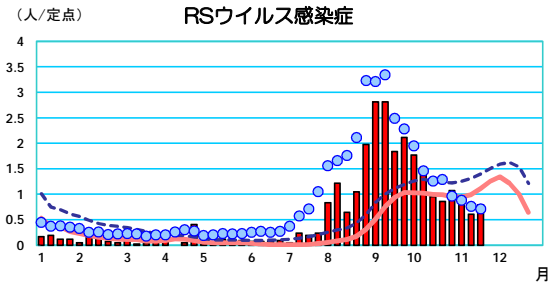
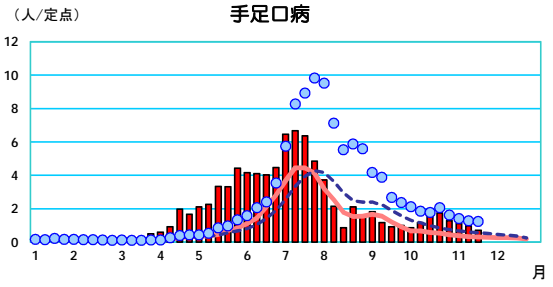
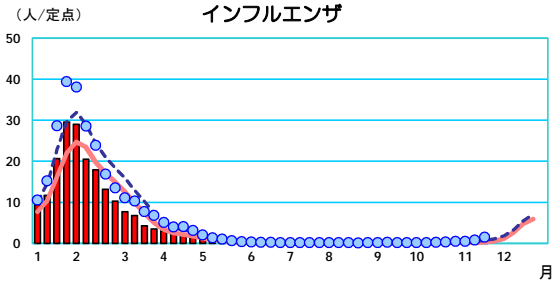
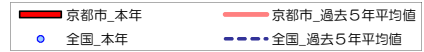
### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<梅毒>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年11月29日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



## 第47週(11月20日～11月26日)トピックス: <梅毒>

京都市の平成29年における梅毒の累積報告数は第47週までで64例となりました。第39週に昨年の年間報告数51例を超えて以降も増え続けています。報告数が年間60例を超えるのは、昭和53(1978)年以来39年ぶりです。全国の報告数も増え続けており、昨年の報告数4,559例を第42週に超え、第45週には5,000例を超えて今週は5,158例となりました。全国の報告数が5,000例を超えるのは、昭和48(1973)年以来44年ぶりです(図1)。京都市ではほぼ毎週報告があることから、今後更なる増加が予想され、もはや過去の病気とは言えない状況です。

全国の発生動向を性別及び年齢階級別で3年分ずつに分けて比較すると、平成24年から26年の3年間では総数が3,764例で男性が79%、女性が21%でした。男性の年齢階級別割合は20歳以上の各年齢がそれぞれ20%前後、女性では20歳代が8%を占めていました。平成27年から29年の約3年では、総数が12,714例(平成24～26年の約3.4倍)、男性の各年齢の構成比に大きな変化はありませんでしたが、女性の占める割合が30%(同約1.5倍)に、特に20歳代女性の占める割合が15%(同約2倍)に増えました。全体の30%にあたる女性の内訳を見ると約半数が20歳代となっています(図2)。

報告数は医療機関を受診した患者に限られますので、自覚症状が少ない等で治療を受けておらず、他の人の感染源となる可能性のある人を含めると感染者数は更に多いと推測されます。梅毒は性交だけでなく、性的接触でも感染します。また、一度罹っても終生免疫は得られず、何度でも感染します。皮膚や粘膜に異常を感じた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

このほか、梅毒に関する正しい知識を身につけることが重要です。京都市衛生環境研究所では、機関誌「京都市衛生環境研究所にゅーす」で、梅毒を含む性感染症について病気の症状や予防方法等を分かりやすく御紹介しています。ぜひ御覧ください。

【京都市情報館】京都市衛生環境研究所にゅーす(平成29年度第1号)「性感染症」って何？

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175313.html>

図1 京都市及び全国の報告総数 昭和36年～平成29年第47週

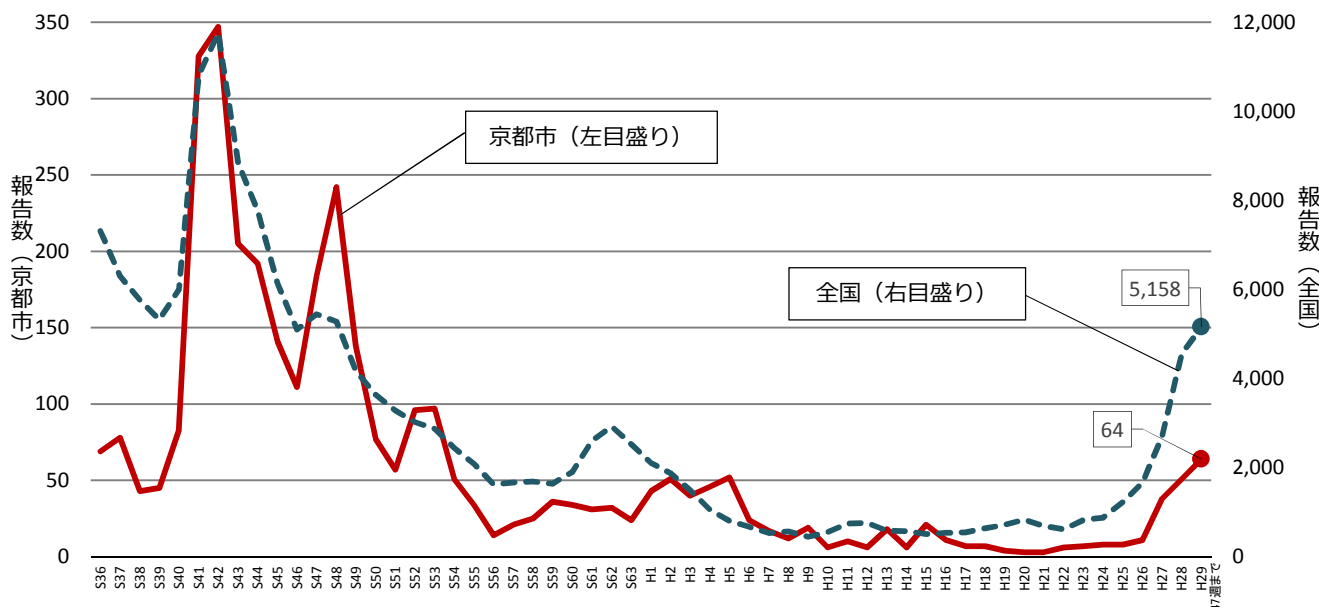
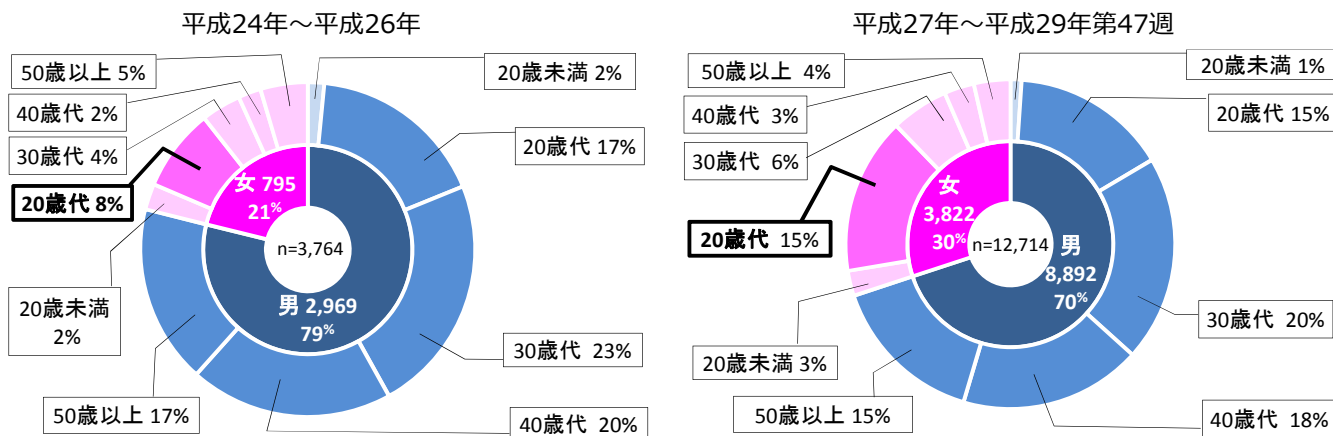


図2 全国の報告数の性別年齢階級別割合



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第47週

疾病,行政区別報告数

平成29年11月20日～平成29年11月26日

データ入手日:平成29年11月29日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日咳	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																				
北	1	-	1	1	4	2	1	-	-	-	-	-	-	1						
上京	1	1	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	3	-	-	5	74	2	9	-	2	-	2	1	-	-						
中京	1	2	-	6	6	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	3	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	1	1	1	5	2	3	1	-	3	-	2	-	-	-						
下京	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	2	7	-	1	32	1	1	-	2	-	3	-	-	-						
右京	8	7	1	14	45	1	5	-	-	-	7	1	-	-						
伏見	-	8	1	12	42	14	4	-	4	-	4	1	-	-						
西京	20	5	1	7	25	-	8	-	2	-	2	-	-	-						
京都市計	38	34	5	53	253	24	31	-	13	-	24	3	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定数当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日咳	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																				
北	0.14	-	0.25	0.25	1.00	0.50	0.25	-	-	-	-	-	-	1.00						
上京	0.20	0.33	-	0.33	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	0.43	-	-	1.25	18.50	0.50	2.25	-	0.50	-	0.50	0.25	-	-						
中京	0.20	0.67	-	2.00	2.00	-	0.67	-	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	1.50	-	-	9.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	0.14	0.20	0.20	1.00	0.40	0.60	0.20	-	0.60	-	0.40	-	-	-						
下京	-	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.40	2.33	-	0.33	10.67	0.33	0.33	-	0.67	-	1.00	-	-	-						
右京	1.00	1.40	0.20	2.80	9.00	0.20	1.00	-	-	-	1.40	0.20	-	-						
伏見	-	1.14	0.14	1.71	6.00	2.00	0.57	-	0.57	-	0.57	0.14	-	-						
西京	2.50	1.00	0.20	1.40	5.00	-	1.60	-	0.40	-	0.40	-	-	-						
京都市計	0.55	0.79	0.12	1.23	5.88	0.56	0.72	-	0.30	-	0.56	0.07	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第47週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年11月20日～平成29年11月26日

データ入手日:平成29年11月29日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	38	-	-	2	1	3	7	1	1	5	2	2	4	2	3	5	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	34	8	4	13	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		5	-	1	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		53	1	-	1	1	8	15	4	3	3	5	-	9	1	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		253	3	19	51	29	28	15	21	11	4	3	7	17	14	31	-	-	-	-	-	-	-
水痘		24	-	-	3	2	1	3	2	3	2	2	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		31	-	2	12	12	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	6	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		24	-	4	7	2	5	2	-	-	-	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.55	-	-	0.03	0.01	0.04	0.10	0.01	0.01	0.07	0.03	0.03	0.06	0.03	0.04	0.07	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.79	0.19	0.09	0.30	0.14	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.12	-	0.02	-	-	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.23	0.02	-	0.02	0.02	0.19	0.35	0.09	0.07	0.07	0.12	-	0.21	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.88	0.07	0.44	1.19	0.67	0.65	0.35	0.49	0.26	0.09	0.07	0.16	0.40	0.33	0.72	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.56	-	-	0.07	0.05	0.02	0.07	0.05	0.07	0.05	0.05	0.02	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.72	-	0.05	0.28	0.28	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.30	-	0.14	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.56	-	0.09	0.16	0.05	0.12	0.05	-	-	-	0.02	0.02	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第47週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年11月29日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		15	13	10	13	19	38
RSウイルス感染症		41	37	46	35	26	34
咽頭結膜熱		9	12	10	9	11	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		35	46	43	43	54	53
感染性胃腸炎		170	187	140	198	220	253
水痘		18	17	11	18	18	24
手足口病		84	75	55	48	42	31
伝染性紅斑		-	1	1	1	-	-
突発性発しん		18	19	15	18	14	13
百日咳		-	-	-	1	-	-
ヘルパンギーナ		42	62	44	28	22	24
流行性耳下腺炎		5	6	6	5	6	3
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	4	1	3	4	1
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	1	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	1	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		438	479	382	420	438	479

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.22	0.19	0.14	0.19	0.28	0.55
RSウイルス感染症		0.95	0.86	1.07	0.81	0.60	0.79
咽頭結膜熱		0.21	0.28	0.23	0.21	0.26	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.81	1.07	1.00	1.00	1.26	1.23
感染性胃腸炎		3.95	4.35	3.26	4.60	5.12	5.88
水痘		0.42	0.40	0.26	0.42	0.42	0.56
手足口病		1.95	1.74	1.28	1.12	0.98	0.72
伝染性紅斑		-	0.02	0.02	0.02	-	-
突発性発しん		0.42	0.44	0.35	0.42	0.33	0.30
百日咳		-	-	-	0.02	-	-
ヘルパンギーナ		0.98	1.44	1.02	0.65	0.51	0.56
流行性耳下腺炎		0.12	0.14	0.14	0.12	0.14	0.07
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	0.40	0.10	0.30	0.40	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	1.00	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	1.00	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		10.13	11.33	8.87	9.88	12.28	10.88

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。